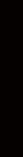
埋蔵文化財調査室イベント



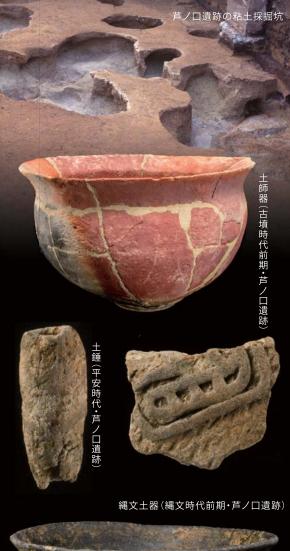








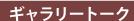
北大学キャンパスにおける遠古の文化





土師器(平安時代・芦ノ口遺跡)

遺 :偶(縄文時代中期・青葉山E遺跡) 跡



展示を見ながら解説をします。

- 1月17日(木) 12:10/15:00 2回(約20分)
- 事前申込不要、直接 **史料館展示室**までお越し下さい。

東北大学のキャンパス内における遺跡としては、仙台城跡二の丸地区がとくに著名です。一方で、青葉山 キャンパスには、旧石器~弥生時代を主体とする遺跡群がありました。現在の自然史標本館の下には、縄文時 代早期(約8,000年前)の竪穴住居跡が確認されていました。また、太白区の富沢地区(電子光理学研究セン ター)には、縄文・古墳時代の土器づくりの原料となる粘土を採掘した穴が残されていました。このように、本 学の敷地内には、古い時代の様々な遺跡が残されていることがわかっています。

今回の展示では、青葉山を始めとした本学の各キャンパスにおける埋蔵文化財の発掘調査の成果を紹介 することにより、このような歴史的環境の一端をご覧頂きたいと思います。

会期

2019年 1月 15日 (火) ~ 2月 15日 (金) 月曜日~金曜日 10:00 ~ 17:00 (土日祝は休館)

青葉山E遺跡第10次調査作業風景

会場

東北大学史料館

(東北大学 片平キャンパス内)

東北大学埋蔵文化財調査室 主催 お問い合わせ先

電話 022-217-4995 FAX 022-217-5103 E-mail maibun@grp.tohoku.ac.jp Web http://web.tohoku.ac.jp/maibun/

東北大学史料館 共催

入場 無料

